

# 1988年からの先駆的挑戦―「心のバリアフリー」と環境整備の両輪で目指す、誰もが輝く共生社会の実現

京王プラザホテルのユニバーサルサービスへの挑戦は、1988年に当ホテルで開催された「リハビリテーション世界会議」を契機に始まりました。以来、私たちは共生社会の実現こそがホテルのあるべき姿と捉え、ハード・ソフト両面から業界に先駆けた取り組みを重ねてまいりました。

ハード面では、2018年にユニバーサルルームをお客様や専門家、現場の声を結集させ刷新しました。機能性を追求しつつも病院のような無機質さを排し、ラグジュアリーさと機能美を兼ね備えた、ジュニアスイートを含む3タイプの上質な空間をご用意しています。状態に合わせた手すり等の設置に加え、高さを変更できるハンガーバーや、浮き出し文字表示、来客等を文字の点滅で知らせるアラートシステムなどを備え、多様な障害特性に配慮しています。また、2007年には業界初の「補助犬専用トイレ」を設置し、犬の足に優しい人工芝や、車椅子対応の排泄用段を設け、長きにわたり多くのユーザーに支持されています。



ユニバーサルルーム



補助犬専用トイレ

ソフト面では、「心のバリアフリー」を最重要視し、全従業員が当事者意識を持てるよう人財育成に注力しています。新入社員へのユニバーサルマナー検定導入や、聴覚障害のある従業員による手話講座実施のほか、社内掲示板にヘルプマークのポスターを掲出し啓発を強化しています。こうした姿勢は、2017年の日本盲導犬協会設立50周年記念式典での「声のリレー」による誘導等の実績につながり、2018年には「東京都『心のバリアフリー』サポート企業」に登録され、業界初の「好事例企業」に選定されました。2021年には観光庁の「観光施設における心のバリアフリー認定制度」において東京都第一号として認定され、昨年のデフリンピックでも、これらの経験を活かし「指差しボード」や「コミュニケーションカード」を整備して関係者をお迎えしました。

また、障害者の社会参加と活躍推進にも積極的に取り組んでいます。国際的なイニシアチブ「The Valuable 500」に国内ホテルとして初めて加盟し、障害者雇用推進や、社内会議でのUDトークを活用した情報バリアフリー化を図っています。さらに、館内装飾での障害者アート作品の採用や、地域企業と連携した福祉アート展「アール・ブリュット企業展」をロビーで開催し、作品の魅力を伝える発信支援も行っています。

当ホテルはこれからも、原点にある揺るぎない想いを継承し、障害の有無に関わらず誰もが輝ける共生社会の実現に向け、全社一丸となって邁進してまいります。

## 企業・団体情報

企業名：株式会社京王プラザホテル

住所：東京都新宿区西新宿2丁目2-1

事業概要：ホテル運営



URL：<https://www.keioplaza.co.jp/corporate/sdgs/>